

[花き部門 平成 30 年度 指導参考資料]

事項名	寒咲きスプレーギク「あけぼのの舞」及び「あかねの舞」のエテホン剤散布による開花抑制		
ねらい	青森県産業技術センターで育成した寒咲きスプレーギク「あけぼのの舞」と「あかねの舞」の自然開花期は 11 月下旬～12 月上旬であるが、エテホン剤の散布により開花を抑制し、需要の多い 12 月中旬に収穫できることが明らかとなったので、参考に供する。		
指導参考内容	<p>1 12 月中旬に収穫するための作型とエテホン剤散布方法</p> <p>(1) 7 月上旬に挿し芽を行い、7 月下旬に無加温ハウスへ定植する。</p> <p>(2) 定植の約 1 週間後となる 8 月上旬に摘心を行う。この時にエテホン剤（商品名：エスレル 10）の 500 倍液を株全体が濡れる程度に全面散布する。</p> <p>(3) 1 回目の散布後、2 週間おきに合計 3 回、初回と同様に散布する。</p> <p>2 散布処理の時期と開花期</p> <p>(1) 最終散布が 8 月中旬以前、9 月中旬以降では 12 月中旬に収穫できない。</p>		
期待される効果	エテホン剤散布により、需要の多い 12 月中旬収穫が可能となる。		
利用上の注意事項	<p>1 本資料は平成 29 年 12 月 13 日現在の農薬登録内容に基づいて作成した。</p> <p>2 農薬を使用する場合は、必ず最新の農薬登録内容を確認して使用者の責任のもとに使用すること。 「農薬情報」(http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/) 「農薬登録情報提供システム」(http://www.acis.famic.go.jp/index_kensaku.htm) また、短期暴露評価の導入により使用方法が変更された農薬は、登録内容の変更前であっても、変更後の使用方法で使用すること。</p> <p>3 本試験は、無加温ハウスにおける 7 月下旬定植、摘心 3 本仕立て栽培で得られた結果である。</p>		
問い合わせ先 (電話番号)	農林総合研究所 花き部 (0172-52-4341)	対象地域 及び経営体	県下全域の当該 品種作付経営体
発表文献等	平成 27～28 年度 農林総合研究所試験成績概要集 東北農業研究 第 70 号、平成 29 年度 東北農業試験研究発表会		

【根拠となった主要な試験結果】

表 1 エテホン剤処理が「あけぼのの舞」の生育と切り花に及ぼす影響（平成 26～28 年 青森農林総研）

年度	摘心日	エテホン剤処理		発蕾期	採花盛期	切花長 (cm)	葉数 (枚)	頭花数 (個)	切花重 (g)
		回数	最終 処理日						
H26	7/22	0	-	10/7	11/21	102.3	42.1	12.9	90.8
		2	8/4	10/7	11/25	102.3	47.7	11.4	95.0
		3	8/18	10/7	11/25	98.7	53.2	9.7	92.8
H27	7/29	0	-	10/9	11/30	88.9	34.4	7.7	65.4
	8/1	3	8/28	10/16	12/13	89.1	45.2	8.6	76.3
	8/5	3	9/2	10/16	12/13	92.0	45.8	9.2	64.0
H28	8/1	0	-	10/14	12/8	81.7	37.4	9.6	54.2
		3	8/29	10/17	12/19	74.5	46.7	7.2	54.2
	8/8	0	-	10/14	12/9	75.5	34.4	8.6	49.8
		3	9/5	10/17	12/20	73.6	43.8	5.8	48.8
	8/18	0	-	10/14	12/9	68.0	29.4	8.6	48.4
		3	9/15	11/4	開花せず				

(注) 1 発蕾期：区全体の50%が発蕾した日

(注) 2 採花盛期：全体の50%が切り前に到達した日

表 2 エテホン剤処理が「あかねの舞」の生育と切り花に及ぼす影響（平成 26～28 年 青森農林総研）

年度	摘心日	エテホン剤処理		発蕾期	採花盛期	切花長 (cm)	葉数 (枚)	頭花数 (個)	切花重 (g)
		回数	最終 処理日						
H26	7/22	0	-	10/7	11/18	87.7	38.0	12.8	87.6
		2	8/4	10/7	11/21	82.4	44.0	11.2	60.1
		3	8/18	10/7	11/21	77.7	49.7	11.2	56.0
H27	7/29	0	-	10/9	11/28	83.4	30.6	8.7	66.9
	8/1	3	8/28	10/16	12/7	75.9	42.0	8.8	71.7
	8/5	3	9/2	10/16	12/9	77.3	42.9	9.9	65.1
H28	8/1	0	-	10/14	12/9	60.8	29.0	8.6	41.3
		3	8/29	10/17	12/16	55.8	37.2	8.4	36.6
	8/8	0	-	10/14	12/9	59.1	26.6	8.4	38.0
		3	9/5	10/17	12/16	55.4	36.7	7.4	34.5
	8/18	0	-	10/14	12/7	56.1	24.4	8.9	39.5
		3	9/15	11/4	開花せず				

(注) 注 1、注 2 とも表 1 を参照

耕種概要

- 1 採 穂：冬至芽の摘心後に伸長した側枝を挿し芽し、発根後に無加温ハウス内に定植。この親株を 2 回摘心後に採穂
- 2 挿し芽日：H26：6月26日 H27：7月6日 H28：7月7日
- 3 定植日：H26：7月14日 H27：7月22日 H28：7月26日
- 4 栽植様式：条間 30cm、株間 15cm 2 条植え 摘心 3 本仕立て
- 5 施肥量：基肥(kg/a)窒素：リン酸：カリ=1.0：1.0：1.0
- 6 エテホン剤処理：「エスレル 10」500 倍液を摘心日とその後 2 週間おきに 2 回散布

(参考) 1 瓶 100ml：約 3,000 円、500 倍液 3 回散布：約 1,300 円/a